

## 設問内容の意図について (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

### 問1 あなたのご家族や生活状況について

NO	設問内容	選択肢
(1)	家族構成をお教えてください	1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他

この設問は、家族構成を問う設問です。高齢者の世帯状況やその地域分布を把握すること、世帯構成別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります(孫を含む3世帯の場合は「その他」にしてください)。

NO	設問内容	選択肢
(2)	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

この設問は、主観的な介護の必要度を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の介護の必要度を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(2)	①【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん(悪性新生物) 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気(リウマチ等) 6. 認知症(アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患(透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他( ) 15. 不明

この設問は、介護・介助が必要になった原因を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の介護・介助が必要になった原因を把握することにより、地域課題(要介護状態になる原因)の把握が可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(2)	②【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】主にどなたの介護・介助を受けていますか	1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他 ( )

この設問は、介助者の詳細を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の介護・介助の実態を把握することにより、地域課題（家族介護の実態）の把握が可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(3)	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

この設問は、主観的な経済状態を問う設問です。高齢者の経済状態やその地域分布を把握すること、経済状態別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(4)	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	1. 持家（一戸建て） 2. 持家（集合住宅） 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） 6. 借家 7. その他

この設問は、住宅の形態を問う設問です。地域の高齢者の住まい（サービス付き高齢者向け住宅など）のニーズ把握・サービス整備の検討の際に活用することが可能になります。

## 問2 からだを動かすことについて

NO	設問内容	選択肢
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

この設問は、運動器の機能低下を問う設問です（この設問で3問以上、該当する選択肢（上の表の網掛け箇所）が回答された場合は、運動器機能の低下している高齢者になります）。運動器の機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

この設問は、転倒リスクを問う設問です（(4)で「1. 何度もある」「2. 1度ある」に該当する選択肢が回答された場合は、転倒リスクのある高齢者になります）。転倒リスクのある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

この設問は、閉じこもり傾向を問う設問です（(6)で「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」に該当する選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります）。閉じこもり傾向のある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(8)	外出を控えていますか	1. はい 2. いいえ
(8)	①【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)	1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他( )

この設問は、外出を控えている場合の原因を問う設問です。閉じこもり傾向のある高齢者の原因を把握することにより、地域課題(閉じこもり傾向のある高齢者に不足している対策)の把握が可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(9)	外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他( )

この設問は、外出の際の移動手段を問う設問です。高齢者の外出の際の移動手段の実態を把握することにより、地域課題(移動手段上の課題)の把握が可能になります。

### 問3 食べることについて

NO	設問内容	選択肢
(1)	身長・体重	( ) cm ( ) kg

この設問は、低栄養の傾向を問う設問です（身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷{身長（m）×身長（m）}）が18.5以下の場合、低栄養が疑われる高齢者になります。）低栄養状態を確認する場合は、オプション項目にある設問のうち、体重の減少傾向を把握する「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」も併せて確認し、2設問ともに該当した場合は、低栄養状態にある高齢者になります。

（この設問1問のみでは、地域の低栄養状態にある高齢者の把握はできませんのでご注意ください。）低栄養状態にある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になりますので、事業の必要量を把握する場合はオプション項目1設問を加えた2設問を実施してください。

NO	設問内容	選択肢
(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ

この設問は、口腔機能の低下のうち咀嚼機能の低下を問う設問です（(1)で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります）。

口腔機能の低下を確認する場合は、オプション項目にある設問のうち、嚥下機能の低下を把握する「お茶や汁物等でむせることがありますか」、肺炎発症リスクを把握する「口の渇きが気になりますか」も併せて確認し、3設問のうち2設問に該当した場合は、口腔機能の低下している高齢者になります。

（この設問1問のみでは、地域の口腔機能が低下している高齢者の把握はできませんのでご注意ください。）

口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になりますので、事業の必要量を把握する場合はオプション項目2設問を加えた3設問を実施してください。

NO	設問内容	選択肢
(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい                      2. いいえ
(4)	口の渇きが気になりますか	1. はい                      2. いいえ

(3)は、嚥下機能の低下を把握する設問、(4)は肺炎発症リスクを把握する設問です。必須項目にある設問のうち、咀嚼機能の低下を把握する「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」も併せて確認し、3設問のうち2設問に該当した場合は、口腔機能の低下している高齢者になります。口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(5)	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	1. はい                      2. いいえ

この設問は、口腔ケアに問う設問です。日常の口腔ケアの状況を把握することにより口腔に関する地域課題の把握が可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(6)	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。）	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

この設問は、義歯の有無と歯数を問う設問です。高齢者の口腔の健康状態や義歯の使用状況の把握により、地域の歯科医療や口腔機能の向上に関するニーズの把握の参考になります。

NO	設問内容	選択肢
(6)	①噛み合わせは良いですか	1. はい                      2. いいえ
(6)	②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい                      2. いいえ

この設問は、咬合状態・義歯の管理を問う設問です。咀嚼機能や口腔衛生の状況を把握することにより口腔に関する地域課題の把握が可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい                      2. いいえ

この設問は、低栄養の傾向を問う設問です。低栄養の傾向のある高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(8)	どなたかと食事をともにする機会がありますか	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

この設問は、孤食の状況を問う設問です。閉じこもり傾向と孤食の関係性を把握することで、地域課題（閉じこもり傾向の原因）の把握が可能になります。

#### 問4 毎日の生活について

NO	設問内容	選択肢
(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい                      2. いいえ

この設問は、認知機能の低下を問う設問です（(1)で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります）。認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい                      2. いいえ
(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい                      2. いいえ

この設問は、認知機能の低下を問う設問です。認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(6)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

この設問は、IADL の低下を問う設問です。IADL が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい                      2. いいえ
(10)	新聞を読んでいますか	1. はい                      2. いいえ
(11)	本や雑誌を読んでいますか	1. はい                      2. いいえ
(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい                      2. いいえ

この設問は、老研式活動能力指標に基づく知的能動性の低下を問う設問です。本指標が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(13)	友人の家を訪ねていますか	1. はい                      2. いいえ
(14)	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい                      2. いいえ
(15)	病人を見舞うことができますか	1. はい                      2. いいえ
(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい                      2. いいえ

この設問は、他者との関わりについて問う設問です。地域課題（他者との関わりの低さ）の把握が可能となります。

NO	設問内容	選択肢
(17)	趣味はありますか	1. 趣味あり→（                      ） 2. 思いつかない
(18)	生きがいがありますか	1. 生きがいあり→（                      ） 2. 思いつかない

この設問は、趣味・生きがいを問う設問です。本項目と社会参加の関係性を把握することにより、社会参加する高齢者の傾向の把握が可能になります。

## 問5 地域での活動について

NO	設問内容	選択肢
(1)	<p>以下のような会・グループ等ほどのくらいの頻度で参加していますか（老人クラブ・町内会・自治会の活動をのぞきま）※①－④それぞれに回答してください</p> <p>① ボランティアのグループ            ② スポーツ関係のグループやクラブ            ③ 趣味関係のグループ            ④ 学習・教養サークル            ⑤ 老人クラブ            ⑥ 町内会・自治会            ⑦ 収入のある仕事</p>	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

この設問は、①～④に該当する活動への社会参加の状況を問う設問です。この設問は、高齢者の社会参加の状況や就業状況を問う設問です。地域資源（要介護状態になる前の高齢者の就業状況）の把握が可能となります。

NO	設問内容	選択肢
(2)	<p>地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。</p>	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない
(3)	<p>地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。</p>	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

この設問は、地域づくりへの参加意向を問う設問です。地域づくりに対して「参加者として」「企画・運営（お世話役として）」の両方の立場における参加の意向を把握することが可能になります。



(8)	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつかでも)	1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない
-----	-------------------------------	--

この設問は、友人関係を問う設問です。事業を展開したことにより、地域でのつながりがどの程度増えたかをモニタリングすることが可能となります。

## 問7 健康について

NO	設問内容	選択肢
(1)	現在のあなたの健康状態はいかがですか	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

この設問は、主観的健康感を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の主観的健康感を把握することで地域の健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(2)	あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点「とても幸せ」を10点としてご記入ください）	とても 不幸 0 2 3 4 5 6 7 8 9 10 点 点

この設問は、主観的幸福感を問う設問です。うつ傾向との関係性も想定される、要介護状態になる前の高齢者の主観的幸福感を把握することで、地域の（精神面での）健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになりましたか	1. はい 2. いいえ
(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

この設問は、うつ傾向を問う設問です（(1) (2) でいずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者になります）。うつ傾向の高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(5)	お酒は飲みますか	1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

この設問は、飲酒の習慣を問う設問です。高齢者の健康寿命に影響を与えると考えられる本項目と他項目の関係性を把握することにより、地域の高齢者の特性把握が可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(6)	タバコは吸っていますか	1. ほぼ毎日吸っている      2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた      4. もともと吸っていない

この設問は、タバコの習慣を問う設問です。高齢者の健康寿命に影響を与えると考えられる本項目と他項目との関係性を把握することで、地域の高齢者の特性把握が可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(7)	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつかも)	1. ない      2. 高血圧      3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病      5. 糖尿病      6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気      9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等)      12. がん(新生物) 13. 血液・免疫の病気      14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等)      16. パーキンソン病 17. 目の病気      18. 耳の病気 19. その他(                      )

この設問は、現在治療中の病気等を問う設問です。認定を受けていない高齢者の既往を把握することで要介護状態になる原因等の地域課題の把握が可能になります。

## (在宅介護実態調査)

【A票：ご本人様にご回答・ご記入頂く項目】

設問	調査の視点
【回答者の方は、どなたですか】	・家族等による介護がある場合に、主な介護者の方がどの程度の割合で調査に同席されているかなどを把握する。
問 1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）	・世帯類型ごとに、サービスの利用や抱えている課題などが異なるため、世帯類型を把握する。
問 2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）	・家族等による介護がどの程度行われているかを把握する。
問 3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）	・主な介護者の方と要介護者の関係によって、抱えている問題が異なるため、要介護者と主な介護者の方との関係を把握する。
問 4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）	
問 5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）	・主な介護者の方の年齢を把握する。
問 6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）	・主な介護者の方が、行っている介護を把握し、就労継続の可否に係る意識等と合わせた分析を行う。
問 7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）	・認定調査対象者の方の介護に関連する、離職者の有無を把握する。
問 8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）	・地域の中で介護保険以外の支援・サービスがどの程度利用されているかを把握する。
問 9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）	・支援・サービスのニーズを把握する。 ・介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスの両方を対象としている。
問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）	・今後も在宅生活を継続していくことができているか否かを把握し、在宅生活の継続に資するサービス利用の分析等を行う。
問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）	・医療、介護の両方のニーズを持つ、在宅療養者を把握する。
問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）	
問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）	・要支援・要介護認定を受けている方について、介護保険サービスを利用していない理由を把握する。
問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）	

【B票：主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目】

設問	調査の視点
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）	・勤務形態によって、介護者の方の負担も異なることから、主な介護者の方の勤務形態を把握する。
問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）	・仕事と介護の両立の視点から、柔軟な働き方について、どの程度活用をしているかを把握する。
問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）	・勤め先からの支援のニーズを把握する。
問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）	・介護者の方が、今後も仕事を継続していくことができると感じているか否かを把握し、就労継続に資するサービス利用の分析等を行う。
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）	・主な介護者の方が、不安に感じている介護を把握し、不安の軽減に資するサービス利用の分析等を行う。